



## 平成30年度運営方針として

鹿児島県小中学校事務職員研究会  
会 長 今 村 敬 行

鹿事研は、本年度も「学校の教育目標を実現し、子どもの豊かな学びを支援する学校事務」をテーマに掲げて活動します。このテーマは、本県の教育振興基本計画（平成26年度～30年度版）に示された教育基本目標である「あしたをひらく心豊かでたくましい人づくり」を達成するために、事務職員のミッションとして設定しています。

平成29年4月に、事務職員の職務規定が見直され共同実施の法制化が実現しました。今後、共同実施や標準職務の見直しを含め、具体化が図られていくことになります。学習指導要領の改訂も進められ、これからは、地域を含めたカリキュラムマネジメントをどのように展開していくか大きな課題となってきます。これらの背景には、高度情報化、少子高齢化、いじめや貧困といった子どもを取り巻く環境や学校が抱える課題が複雑化、多様化してきていて、その解決への糸口はより一層難しくなっていることにあります。これらの課題を解決し、子どもたちが心豊かに学び成長できる環境づくりのために、様々な施策が打ち出され、条件整備がおこなわれています。これからは、学校と保護者・地域が一層連携を深め、「チーム学校」として機能し、様々な主体と協働・熟議して子どもたちの学びの質を高めていくことが求められています。このような状況を踏まえ、様々なニーズや課題の多様性に対応していくために我々事務職員も積極的に学校づくりに参画していきましょう。

学びの主体は「子ども」であり、授業を担うのは「教員」ですが、事務職員は学校運営に関する専門性を発揮し、教育の充実と質の向上に貢献・寄与していくことができます。子どもたちの学びは学校だけでなく家庭や地域、社会全体で育まれるものです。特に家

庭や地域との連携は不可欠になります。その一翼を担うことは、これからの学校事務の使命とも言えます。今回の法改正は、学校事務職員にとって大きな転換期ととらえ、的確に対応していく必要があります。

鹿事研としても法改正に対応した研修体制について研究を進め、事務職員のキャリア形成、力量形成に努めてまいります。これらの研究成果については、広報「いぶき」・「研究大会」などをおして会員へ周知していきます。

さて、鹿事研の活動は、大きく二つあります。一つめは、各専門部・委員会活動の充実です。研究部を始め、研修部、広報部、鹿児島県学校事務の手引編集委員会、学校事務必携編集委員会、OA研究推進委員会は、各活動の成果を鹿事研会員へ還元していきます。二つめは、研究大会の実施です。鹿事研は、研究成果を外部へアピールする場として、また全国的な学校事務に関する情報を提供する場として、さらに会員相互の情報を共有する場として、研究大会を開催します。鹿事研は、この二つの活動を中心に研究活動を進めてまいりますので、会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

また、本年度の鹿事研の課題として、以下のように掲げます。

- 1 鹿児島県版「学校事務のグランドデザイン Ver1.1」第2次研究中期計画の推進
- 2 望ましい「学校事務の共同実施」の模索
- 3 外部団体（県教育委員会、県連合校長協会、全事研、九州ブロック各県事務研など）との連携